

〔編集後記〕

愛知学院大学人間文化研究所紀要『人間文化』は、ここに第三四号を無事に刊行することができました。本号では、論文六編と訳注二編が掲載され、歴史、宗教文化、日本文化、英語文化、英語教育など、学際的な内容となっています。玉稿をご投稿くださいました先生方はもとより、人間文化研究所の事務をご担当頂いている見尾谷容子氏にも心よりの感謝を申し上げます。

昨今、日本の大学はさまざまな変化の渦中にあるわけですが、本学も例外ではありません。今年春にやってきた大波は、紀要のデジタル化という大学の方針でした。紀要のデジタル化に関しては、二一世紀の趨勢であり、研究のグローバル化やインパクトファクターなどを考えた場合にそのメリットは大きいと思います。一方で、研究分野によっては、紙媒体でなければ不都合がある場合もあります。目下、本研究所では、将来的なデジタル化を視野に、今後の最良のあり方を模索中です。本号を発送する際に、「紀要のデジタル化に関するアンケート」を同封いたしました。受け取られました機関の方々には、ぜひともご協力をお願いいたします。

どのような媒体となるにせよ、人間文化研究所紀要『人間文化』が本学教員の研究成果を発信する場であることに変わりはありません。今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。（星久美子 記）

人間文化：愛知学院大学人間文化研究所紀要 第34号

令和元年9月10日印刷  
令和元年9月20日発行 (非売品)

編集兼発行者  
愛知学院大学人間文化研究所長 藤 澤 良 祐

〒470-0195  
愛知県日進市岩崎町阿良池12番地  
電話 0561 (73) 1111 (内線1875番)

印刷所 株式会社 あるむ